

櫻

けやき

小牧幼稚園 園だより 第382号 2023年3月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」
年主題「つながって」～今、わたしを生きる～
年聖句「主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り
あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも
帰るのも 主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。」

詩編121：7-8

みどり組のご家庭へは、この号で園だよりが最後となりますが、今までお読みいただきありがとうございます。小牧幼稚園は、入園前にお知らせしたように、自由保育と呼ばれる保育を柱として、遊びが中心となり、子どもが自分で考え、行動する保育を考えています。それは、外での活発な遊び、室内での、製作中心の遊びになるかと思いますが、「コロナ禍」の中で、今年卒園する子どもたちが、思う存分遊ぶことが出来たか疑問に思えるのが、世間一般の見方のように。文科省は子どもの体力の低下が危惧されると言っていますが、小牧幼稚園は二か月の間休むことも有り、家庭でも、室内で過ごす時もありましたが、再開後の幼稚園での姿は、以前とは変わることなく、子どもは、大人が思うほど萎縮せず、園内で思うとおりに過ごすことが出来たと思います。園終了後も、暗くなるまで外遊びをして帰る子どもいます。先生たちもみんな、頭



だけだけでなく「体も張って」保育をしてきました。先日、みどり組の卒園遠足に行ってきましたが、二つの園と一緒にになりました。よその園と比べるとはなんですが、こどもの元気なこと、先生が追いつかないほど走り回り、普段の園庭から脱出し、広いところで、走り回り、よその園を、圧倒していました。（とは、園長の見立てですが）改めて、感心して子どもの姿を見直しました。ただ、神明公園は既成の遊具だけですので、遊びの発展は難しいのです。小牧幼稚園の園庭の様に、「危ない」遊具はありません。木登りすることもできません。博物館的な建物の中は、色々な道具など置いてあり、造形まつりの続きを考えると、触ってみたい、使ってみてみたいものが、沢山ありますが、「触らないで」の表示ばかりで、子どもには欲求不満が残りました。ある園児が、ジェットコースターに乗ってきた話をしてくれました。「めっちゃ怖かった、でもまた乗りたい」そうです。ジェットコースターはともかく、遊びの基本は、冒険心だと思います。怖いけどしてみたい、難しいけどやってみたい、そんな気持ちが必要で、緊張感をもって、一步一步前に進むことにより、達成感を感じ、遊びの楽しさ身をもって実感していきます。遊びが、発展すれば、一人ではできないことを体が理解し、仲間を誘って、今風に言えば「チーム」が出来てきます。人間の五感の働きを高めることが出来るのは、自分自身の行動しかありません。五感とは、視覚、見ること。聴覚、聞くこと。味覚、味わうこと。臭覚、嗅ぐこと。触覚、皮膚で感じること。子ども時代に、五感を高めることが、大切で、そのために遊び、遊び心が、冒

険心が大切です。色々なことに興味を持つことが、遊びを発展させます、その環境を子どもの周りに作ることが、大人の務めなのです。それは、どんな時代でも同じで、コロナ禍の中でも、何も変わることがありません。大人が見守り、大人がお手伝いすることにより、子どもの世界は、子どもの中では変わることはありません。

「冬きたりなば 春遠からじ」春はそこまで来ています。嬉しい季節が始まります。

3年間の幼稚園生活を終え、もうすぐみどり組の子どもは学校へ行くようになります。3年前、どんな子どもが幼稚園に来るのか？もも組の先生たちは春休み、出席簿の名前を書きながら、家庭環境調査表を見ながら、名札を作りながら、靴箱のシールを張りながら、とても楽しみに待っていました。会えることを待ち焦がれていました。それが、コロナで会えなくなりました。どうして会えないの、お手紙出そう、色々考えながら会える日を期待しながら過ごしました。今のみどり組の様子に立派になると考えることなく、明日共に遊び合う、3歳過ぎのもも組の子を待っていました。まだ、オムツの子がいるかな、給食が苦手の子がいるかな、お母さんとの別れが辛く、泣いても私が抱っこすれば、泣き止むかな？お母さんの代わりになれるかな？色々な事を考えながら、楽しみに待っていました。それから3年の間、子どもの育ちを見てきて、今、小学校へ行く子どもの姿を見て、卒園おめでとう、大きくなったね、とお母さんの気持ちの様にあらためて、3年前を思い起こしています。



☆今年卒園するみどり組から卒園記念に各クラスに絵本の棚を寄付して頂きました。ありがとうございました。

☆この数年、同窓会が出来ませんでしたが、4月から中学生になる卒園生の同窓会を、今年を行います。現在、半数ほどから出席の返事を頂いています。当時の担任を含め、先生たちも出席してくれる予定です。当日は、6年前の幼稚園の再現で、園庭で遊び、礼拝して、室内で製作し、当時より少しご馳走の給食を頂きます。最後に、6年前に描いた絵を貰って解散となります。今年の卒園生も、絵を描き上げました。6年後自分の絵がどの絵か解るか楽しみに待っています。

☆本年度を持って、加藤美月先生、長澤みや先生、講師の高原和子先生が退職されます。ありがとうございました。これからも神様のご加護がありますようにお祈りいたします。